

校長先生の日記③

今年度の研究がスタートしています

令和5年度の研究が本格的にスタートしました。

信濃小中学校では、信州大学教育学部の佐藤和紀先生を指導者にお招きして、ご指導をいただいています。

今年度は、まず、児童生徒の10年後に思いを馳せ、人口減少、Society 5.0の時代など、子どもたちを取り巻く環境が激変するという未来を共有し、その世界で信濃町のために力を尽くせる人材となるために、どんな力をつけたらいいのかをみんなで考えました。



のやり方があるけど、自分はどちらをやる？」と子どもに選ばせることから始めると、任せられるようになるのでは？とご指導いただき、「やってみます」と意欲を燃やす先生方がたくさんいて、本当に嬉しく思いました。「教えること」に全力を注いできた私たち教師にとって、「学ぶサポート」をすることが、なかなかイメージしにくいというのが現実です。積極的に授業を見合い、日々学び合うことが大切であるということもご指導いただきました。

そして次の日（5月18日）早速挑戦する先生方の姿、授業を見合い、感想をチャットで伝え合う姿が見られました。3年生の漢字の学習で、今日学習する漢字を担当する先生を決め、その先生が書き順や



JAMボードに意見を貼り付けながら、互いの意見を共有しました。その上で、そのために必要な授業のあり方について、佐藤先生からご指導をいただきました。「生徒たちが自ら学ぶ授業」こそが「探究の授業」と言われて、「確かに分かる」が「どうやったらいいの？」と壁にぶつかる先生方。佐藤先生からは「選択する」から始めてみてはどうかと提案をいただきました。「AとBの

部首、読み方をグループのメンバーに教えます。「この長さが短いので気をつけてください」「それでは練習してください」と先生役の児童が伝えると、練習が始まり、まるでいつも先生がやってくれるように「いいですねー」と褒めたりもしてくれていました。担任の先生は、心配な児童のところに寄り添い、丁寧に見ることができていました。これまでの「一斉」をやめてみたけれど、児童の反応のよさに先生自身も手応えを感じていました。

新しい学力観を教えていただき、早速挑戦する柔軟性。それを獲得しようと参観し、感想を伝えたり、疑問を投げかけたり、それに答えたり、そんな日々の先生方同士の学び合いがどんどん広がっていくといいなと思いました。

一口食べると、優しい甘みと香ばしさが口いっぱいに広がって、次から次へと食べたくくなります。カロリーが気になる年頃なので、「半分だけにしておこう」と心に決めていたのに、結局全部ペロリと食べてしまいました。調理場からは、「パンを揚げています」「きなこをまぶします」と写真入りで調理の様子が掲示板にアップされます。大きな油なべで、一つ一つ丁寧に揚げて、きなこをまぶしてくれているんだと分かります。この様子を見ると、ますますおいしく感じられます。信濃小中学校に来て、毎日の給食が本当においしくて、嬉しいです。「明日は何かな？」と給食が楽しみなのも、学校が楽しみ大切な一つです。きっと給食を楽しみに学校に来てくれている子どもたちもたくさんいると思います。信濃小中学校は、調理場のみなさんにも支えていただいています。

部活動頑張っています



「こんにちは！」グラウンドをのぞくと、部活動中の生徒たちが元気にあいさつしてくれます。本当にさわやかです。

信濃小中学校の部活動は、十分人数がいる活動もあれば飯綱中学校や豊野中学校と合同で行う部活もあります。それでも日々の活動は、チームメイトと力を合わせて練習したり、制作したりしています。そして何より、礼儀や感謝する心、諦めない心など大切な心を身につけています。部活動のあり方はその学校によって違います。信濃小中学校の

部活動スタイルを大切に、これからも頑張っていきます。応援をよろしくお願いいたします。

花壇が花でいっぱいになりました！

緑化委員会のみなさんが、花壇に苗を植えてくれました。春はチューリップがきれいにかわいく咲いていましたが、いよ



いよ夏花壇への衣替えです。

雑草を抜き、土をならして、ペコニアの苗を丁寧に植えてくれました。赤、白、ピンクの苗がきれいに植えられました。これから太陽をいっぱい浴びて、大きく育て、たくさんの花を咲かせてくれると思います。植えている生徒のやる気に満ちた動きが、また気持ちよく、学校のために働くことに喜びを感じている様子が伝わってきました。

5月 信濃小中学校は、やる気あふれ、活気に満ちています！